

インフラの未来に挑む

Challenge the status quo

インフロニア・ホールディングスは、
インフラとインフラサービスの社会課題解決に向け、
日本初の「総合インフラサービス企業」として挑み続けます。

当然のようにそこに在る、あたりまえの幸せ。それがいま、揺らごうとしている。多くの地域に潜在するインフラの課題です。少子高齢化、労働力の減少、産業の衰退。地域の財政がどんどん厳しさを増していくなかで、老朽化していくインフラや公共サービスを自治体だけで保つことは容易ではなくなってきています。インフラの安全性や快適性が損なわれることは、地域の魅力や、くらしの価値そのものを低下させる悪循環へとつながっていく。インフロニア・ホールディングスは、そんな負のスパイラルを逆転させるために生まれた、総合インフラサービス企業です。

これまでの「造る」「建てる」に捉われない自由な発想で市場の既成概念を壊し、ルールから変えていく。たとえば、官と民が一体となったインフラサービスの構築。過剰な建設コストは抑える。収益や運営モデルを見直す。インフラを持続可能なソリューションとして、あたりまえの価値を高め、守り続けていきます。目指すのは、その時代にあわせて、その国や地域、そこでくらす人々が、最適なインフラサービスを選択できる社会。一世紀あまり培ってきたモノをつくる技術力と、業界をこえた多様なパートナーシップを集結させ、インフラをパイオニアする、私たちはインフロニア・ホールディングスです。(INFRONEERブランドストーリーより)



前田道路株式会社
代表取締役社長
今泉 保彦

インフロニア・ホールディングス株式会社
取締役 代表執行役社長兼CEO
岐部 一誠

前田建設工業株式会社
代表取締役社長
前田 操治

株式会社前田製作所
代表取締役社長
塩入 正章

インフラを取り巻く社会課題とその解決



【出典 ※一部出典元データに基づき当社にて算出】
国土交通省「社会資本の老朽化の現状と将来 - インフラメンテナンス情報 (mlit.go.jp)」
建設業ハンドブック2021(一般社団法人 日本建設業連合会)
総務省統計局「人口推計」、日本創成会議「消滅可能性都市」、気象庁「日本の気候の変化」、経済産業省「買い物弱者対策支援について」
国土交通政策研究所「政策課題勉強会」「地域消滅時代」を見据えた今後の国土交通戦略のあり方について (mlit.go.jp) 平成26年度資料
再エネ | 日本のエネルギー 2020年度版「エネルギーの今を知る10の質問」 | 広報パンフレット | 資源エネルギー庁 (meti.go.jp)

我が国の直面しているインフラの状況

我が国の少子高齢化、人口減少に伴う税収減と社会保障関係費の増大により、国や地方自治体の財政はますます厳しくなっています。一方で高度経済成長期に整備された膨大な数のインフラが一斉に大更新時代を迎え、今後の維持・更新費の急激な増加が見込まれています。そのような中、インフラ産業の担い手不足もますます深刻化しています。これまで通りのやり方や仕組みを続けた場合、現在のインフラサービスレベルの維持すらも困難となり、人々の生活に支障が生じ始めます。さらには、我が国は、エネルギー大消費国かつ輸入国であり、世界情勢による産業・暮らしへの影響は計り知れません。

我が国の取り組むべき社会課題

日本が大きく遅れているインフラの更新・最適化の加速により、安全安心につながるサービスを提供し、地域経済・社会の発展につなげること。
さらには、そこで培った日本の技術・ノウハウの輸出により、世界中のインフラサービスの最適化に貢献すること。

当社が取り組む課題

上記の社会課題解決の迅速な推進と実現のため、先陣をきり、継続的な付加価値の追求と提供により、企業価値を向上し、永続的に社会全体へ貢献すること。

課題解決策

従来の技術・ノウハウの最大限の強化・活用に加え、施設の長寿命化・集約・複合化、PPP/PFI事業の拡大、再生可能エネルギー事業の開発、最新技術の導入・DXによる高効率化など、抜本的なやり方・仕組み改革を行うこと。

安定供給 | 日本のエネルギー 2021年度版「エネルギーの今を知る10の質問」 | 広報パンフレット | 資源エネルギー庁 (meti.go.jp)
令和3年度「食料品アクセス問題」に関する全国市町村アンケート結果の公表について
大雨や猛暑日など(極端現象)のこれまでの変化(気象庁) (https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/extreme/extreme_p.html)
女性定着促進に向けたアクションプログラム令和4年8月 第3版(一般財団法人建設業振興基金)
国連環境計画(UNEP)「Emissions Gap Report 2021: The Heat Is On - A World of Climate Promises Not Yet Delivered」エグゼクティブ・サマリー

VISION 私たちが目指す未来 「どこまでも、インフラサービスの自由が広がる世界。」

私たちインフロニアは、インフラという人々の生活の基盤を支えています。一時何かがおこれば、甚大な被害や影響につながる身近な存在でありながらも、それが安全で品質を保っているときは当たり前にあるものと思われ、その意義やイメージがつかみにくい存在、そんなインフラを事業領域としています。

私たちが目指す未来「どこまでも、インフラサービスの自由が広がる世界。」は、一個人、一事業、一企業、一自治体、一国で短期間でつくられるものではありません。

一方で、インフラは新築だけでなく、維持運営・更新さえも困難な状況になり、当たり前の生活が揺らぎ始めています。だからこそ、私たちは1世紀以上培ってきた技術力・ノウハウを集結し、ホールディングス化することで、協創パートナーの皆様とともに、その加速の一歩を踏み出しました。

インフロニアが目指す未来をこの統合報告書で示すとともに、少しでも多くの方の共感を得て、この課題解決に向け、ともに取り組んでいただきたいと思います。



第一歩	第二歩	NEXT	どこまでも、インフラサービスの自由が広がる世界。
護岸整備 河川・海岸堤防(災害復旧) 上下水道設備	水道系コンセッション ・大阪市工業用水 P.86 ・三浦市公共下水道 P.86 国土強靱化事業 ・浜松防潮堤 P.58、P.74 ・山須原発電所ダム P.74	例えば、水道の使用量から家族の息遣いが感じられる。	
交通(道路・空港・鉄道) トンネル 橋梁	交通系コンセッション ・愛知県有料道路 P.83 ・仙台国際空港 ^{※1}	例えば、知らない場所に出かけても、ワンストップの交通サービスを受けられる。	
商業・スポーツ・レジャー施設 ホテル・宿泊施設	アリーナ系コンセッション ・愛知アリーナ P.78 ・愛知県国際展示場 ^{※2} スーパーシティ ・ヴィゾンホテルズ P.78	例えば、見どころを逃さず、あなたの声援が試合を動かす。	
生産・研究・物流施設 教育・文化施設	特殊建築・再開発事業 ・晴海五丁目西地区再開発 P.78 ・熊本県八代市新庁舎 ^{※3} ・天神ビジネスセンター P.67	例えば、工程管理や作業員の健康管理で、安全な現場に、家族の安心をつなげる。	
マンション・集合住宅 オフィス	包括管理業務 ・鴻巣市 P.91 ・常総市 道路包括管理 ・府中市 P.81	例えば、空間データや3D技術から未来の暮らしを描き、快適な街を実現する。	
エネルギー・廃棄物関連施設 機械 山岳・森林	脱炭素事業 (再生可能エネルギー等) ・木質バイオマス発電 P.86 ・太陽光発電(つくば) ・多軸加工機 P.94	例えば、森の環境状態を把握し、循環型の世界を実現する。	

INFRONEER Vision Movie
インフロニア ビジョンムービー
https://youtu.be/QJEUuL_6vM

※1 仙台国際空港 <https://www.sendai-airport.co.jp/> ※2 愛知県国際会議展示場 <https://www.aichiskyexpo.com/> ※3 木で建ててみよう <https://kidetatetemiyou.com/projects/>

編集方針

全ての取り組みは、社会課題解決と企業価値向上につながる

当社は、本統合報告書をステークホルダーの皆様と当社の重要なコミュニケーションツールであるとともに、ステークホルダーの皆様同士のコミュニケーションツールと位置付けています。本統合報告書を通じて、当社の持続的な価値創造プロセスと地域・社会への価値提供についてご理解いただき、ステークホルダーエンゲージメントを積み上げ、社会・企業価値向上に寄与することを目指しています。具体的には、①インフラを取り巻く喫緊の社会課題、②その解決に向けたインフラの考えと取り組み(ビジネスモデル)、③それによって実現される未来(VISION)について、全てのステークホルダーの皆様のご理解につなげ、共感を得ること、さらには「ともに、インフラの未来に挑む」ステークホルダーの関係性強化と獲得を目的として、初年度である本年度は、右記の構成としています。

・対象期間:2021年4月1日-9月30日の各グループ会社の活動と、2021年10月1日-2022年3月31日のインフロニアの活動を対象としています。一部、それ以前からの取り組みや直近の活動も含まれます。
・参考ガイドライン:国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省「価値協創ガイドライン」、GRIスタンダード

総合的なKPI達成に向けた取り組み

事業会社の従来のKPIの延長や単なる集計ではない、インフロニアグループ全体としての成長ストーリーに紐づいた総合的なKPIを示し、その達成に向けた取り組みを各章で掲載しています。

資本市場での成長ストーリーの共通認識と明確化

市場における企業価値算出方法にはDCF法等がありますが、インフロニア(INF[※])が考える企業価値は時価総額だけでなく、当社の事業基盤とすべてのステークホルダーが得る価値を含めています。

当社では、その企業価値の一部であり、定量化できるものを数値化し、「付加価値額」として、社員と共有しています。本統合報告書の中でも、インフロニアの総合KPIとして、「INF付加価値額」、「INF付加価値生産性」を位置づけ、すべてのステークホルダーの皆様と共通認識、明確化できるよう、下記のように定義しています。

インフロニアが考える企業価値を定義する

企業価値の最大化を図る → 付加価値額の最大化を図る → ポートフォリオの最適化・充実化
…結果として、ROICの向上/資本コスト低減、時価総額の拡大につながる

※INF: インフロニア・ホールディングス株式会社の略称です。



【社名略称】
インフロニア・ホールディングス株式会社(インフロニア/INF)
前田建設工業株式会社(前田建設/MK) 前田道路株式会社(前田道路/MD) 株式会社前田製作所(前田製作所/MS)

【序章】 P.03	課題認識&VISION	我が国のインフラの現状と課題
【第1章】 P.09	トップの情熱	ホールディングスと3事業会社のトップが語る インフラの未来を拓く、インフロニアの挑戦
【第2章】 P.23	私たちが目指す未来	価値創造プロセスによる当社事業のご案内と 当社が認識しているマテリアリティ(重要課題)
【第3章】 P.41	インフロニアの経営計画	インフラ運営の上流から下流までをワンストップでマネジメントする 「総合インフラサービス企業」のグループ全体戦略
【第4章】 P.51	安全安心と信頼への 取り組み	インフラの課題解決を見据えたESGへの取り組み それを具現化するセグメントの戦略と取り組み
【第5章】 P.95	IR情報	当社の財務情報と非財務ハイライト
【最終章】 P.105	価値創造の源泉	インフロニアパーソンの熱意と魅力

統合報告書(冊子)コンテンツと統合報告WEB版の関連付け

年に一回発行する冊子版を補完するWEB版を公開しています。今後、適宜追加の情報配信、更新を図っていきますので、併せてご覧ください。

